

いくぞう 通信

議会レポート

No.36 号

2023 年 3 月議会報告

後援会事務所 栃木市岩舟町古江 792
TEL・fax 0282-55-8776
携帯 090-9010-7042
Eメール i-hary@cc9.ne.jp

あなたの相談相手、
気軽にお電話ください。
栃木市議会議員 針谷育造

3月議会は2月24日から3月27日までの32日間開催。令和4年度補正予算10件、条例制定1件、廃止2件、条例一部改正14件、財産の処分取得各1件、佐野地区衛生組合の解散等3件、人権擁護委員、教育委員、固定資産評価委員各1名を同意し閉会した。詳しくは議会広報等をご覧ください。

市個人情報保護条例廃止で、プライバシーが守れない？

マイナンバーの活用のためには市民を犠牲に？

この条例は、市民の個人情報を守るものであり、行政の適正な執行を確保し、基本的人権の考えに基づき個人の情報保護を目的に作られたものです。多くの情報を持っている自治体の大切な仕事がなくなるのです。国の法律により自治体の持っている情報が国や、民間業者によって自由に使える道が作られました。しかし多くの市民は知りません。議員たちもそのような理解は無いようです。市役所には、住所、氏名、年齢、性別などをはじめ、書類の申請、提出で知ることのできる情報はたくさん

あります。これら本人が知らないとところで「匿名加工」すれば、利活用できるのです。

これらはすべてマイナンバーの利活用のためです。これは「安倍総理」の時にすでに準備され、このビッグデータは「宝の山」と豪語していました。楽天の三木谷や、自民党経済好循環委員会などでは実際にその価値活用により300兆円を見込んでいるのです。市民のプライバシーなど最初から考えていないのです。



質問 1、県南広域水道整備事業について

- ①市の水道水は余っている・・・ 8,160 m³(約27,000人分)
- ②南摩ダムの買い入れ数量・・・20,699 m³(約68,996人分)
- ③ 余分水量・・・ 28,859 m³(約96,196人分)

誰が考えても無用な買い物であり、

水道料の大幅値上げは間違いなしです

市民なら誰も納得できないはずです・・・

総合計画・令和14年・10年後人口13.6万人想定



16,821人の減少・・・それでも水を買うのですか？

針谷「水道水は余っていますね」

小野寺局長「余っています」

針谷「買う必要はないですね」

小野寺局長「不測の事態を考えなければならぬので・・・」

針谷「市内で取水するために地盤沈下が有りますか」

小野寺局長「今のところ有りません」

針谷「地下水汚染は有りますか」

小野寺局長「今のところありません」

針谷「取水井戸の濁水リスクの現状は有りますか」

小野寺局長「有りません」

針谷「栃木インター、平川産業団地の各地下水利用は」

小野寺局長「予定は、栃木インター500 m³、平川は3,000 m³です」

針谷「それでも余る水道水です」

針谷「南摩ダムの「高くて、まずい水」を買う必要はないですね」

市長「安定的に、リスクをなくすることだと考えているが、将来のことは分からない」

針谷「市民に寄り添い、『夢と希望の持てる栃木市』が市長の公約です。その実現こそ市長の仕事でないですか」

ダムの水の栃木市負担金 193 億 8000 万円かかる(2013年試算)

これが水道料金に上乘せとなる？・・・どうする市長！

こんなバカげたことを、すっぱりと断ることが市長の仕事です。市長は県のご機嫌取りではない。忖度もほどほどに。公約の「市民第一」を実行するべきです。

質問 2、マイナンバーについて

「2万円もらえるうちに、作らなきゃ」・札束で頼を叩くのですか？

針谷「新聞テレビで宣伝しているが、どのように窓口で説明しているのか」

癸生川部長「納得いただき申請してもらっている」

針谷「2万円貰えるからは政策でない。なりふり構わずは政治の貧困の極み」

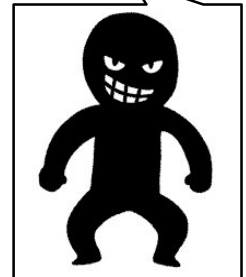
針谷「担当大臣が、『あと6日しかありません』とテレビで語る姿は情けない。これをどう考える」

癸生川部長「窓口の事務が複雑なのでお急ぎくださいと、理解している」

針谷「カード取得は任意か⇒申請にもとづき任意です」

- ・2024年の保険証廃止はやるべきでない⇒2024年に実施する予定です
- ・カードを持たない人の対応は⇒資格確認証を発行する
1年更新の予定・・・「嫌がらせの仕打ち」・任意は嘘でないのか
- ・運転免許証は⇒2025年から予定されているようだ
- ・自動車の登録⇒2024年に運用開始予定
- ・国家資格などは何が一体化されるのか⇒利用可能で住民票、戸籍謄等が不要となる
- ・年金受給者の口座番号ひもづけ見通しは⇒本人が拒否しなければ紐づけされる

狙われる情報



自治体の持つ住民の預貯金口座番号など

公的年金等 9,025万件のデータが「ひもづけ活用」できる

マイナンバーと連携済みの 公金受取口座・・・3225万件

公的年金 4000万件 児童手当 1600万件 生活保護 200万件 合計 9025万件

本人同意回答がなければ、年金等の口座情報が

自動的にマイナンバーひもづけが・・・「宝の山」なのです

朝日新聞・・・「実印を持ち歩く発想」

危険すぎると警告しているが、対策は鉄壁なのか

⇒漏れることがないので活用してほしい(本当とは思えない)

マイナンバーは先進7か国にはない・・・日本だけが、異常です

イギリス なし ドイツ 納税番号はあるが共通番号なし

フランス 社会保障番号はあるが共通番号として利用しない

アメリカ カナダ イタリア 社会保障番号はあるが任意の制度

質問 3、栃木市自治基本条例について



栃木市の憲法が自治基本条例・・・です

市長・職員・議会の守るべき基本が書いてある

針谷「副市長就任後 8 ヶ月、条例に基づき仕事ができただか」

増山副市長「市長協議、市民の相談、要望等の庁内協議、市民自治に取り組んできた」

針谷「市民の位置づけについて」

増山副市長「市民と協働のまちづくりに努め、市民が主役、市民の権利の尊重、市民の責務など市民自治の実現を目指したい」

針谷「市職員に何を期待するか」

増山副市長「事務のスピード対応、分かりやすい説明、主体的に考え、市民目線で行動することを職員に期待し、積極的に人材を育成したい」

針谷「部長・課長を職員は見ている。本音で話せる部課長、職員を育ててもらいたい」

増山副市長「そのように努力して良い職場を作りたい」

針谷「時には鬼となり、時には仏の副市長になってほしい」

副市長としての決意は何か・・・

「法と手続き」を重視して、市民に説明責任を果たしていきたい

仕事をするのは職員です

仕事をするのは職員です。職員が主体的に仕事が出来なければ、「やる気もアイデアも生まれません。」副市長は長い職員経験で、何でも言える職場を作ること、自信とやりがいのもてる職員ができると考えているはずで、風通しの良い職場で、信頼関係を作るなかで楽しく仕事ができるはずで。

命令と服従の職場では息が詰まる

職場は軍隊ではないのです。命令と服従では息が詰まり、言われたことだけをやる仕事では発展性は有りません。責任を持つためにも主体的な関わりが必要です。市民を忘れての仕事は有りません。常に市民のことをイメージしてやってほしいものです。

市民に思いをめぐらして

市民に思いを巡らせることも重要です。市

民あつての職員です。心にとどめてほしいのです。信頼出来る市役所は、職員で決まります。

自由にモノが言える楽しい職場を

市役所は楽しいところでなければならぬ。市民のために仕事をする仲間の集まりです。大きな目的を持った組織であり、集団です。

- 1 人でも楽しい。
- 2 人ならもっと楽しい。
- 3 人ならもっともっと楽しい筈です。

勉強して信頼されるフロになれ

すでに職員はプロです。もっとたくさん学んで市民のパートナーになってほしいものです。市民に頼られる職員を目指してください。期待しています。